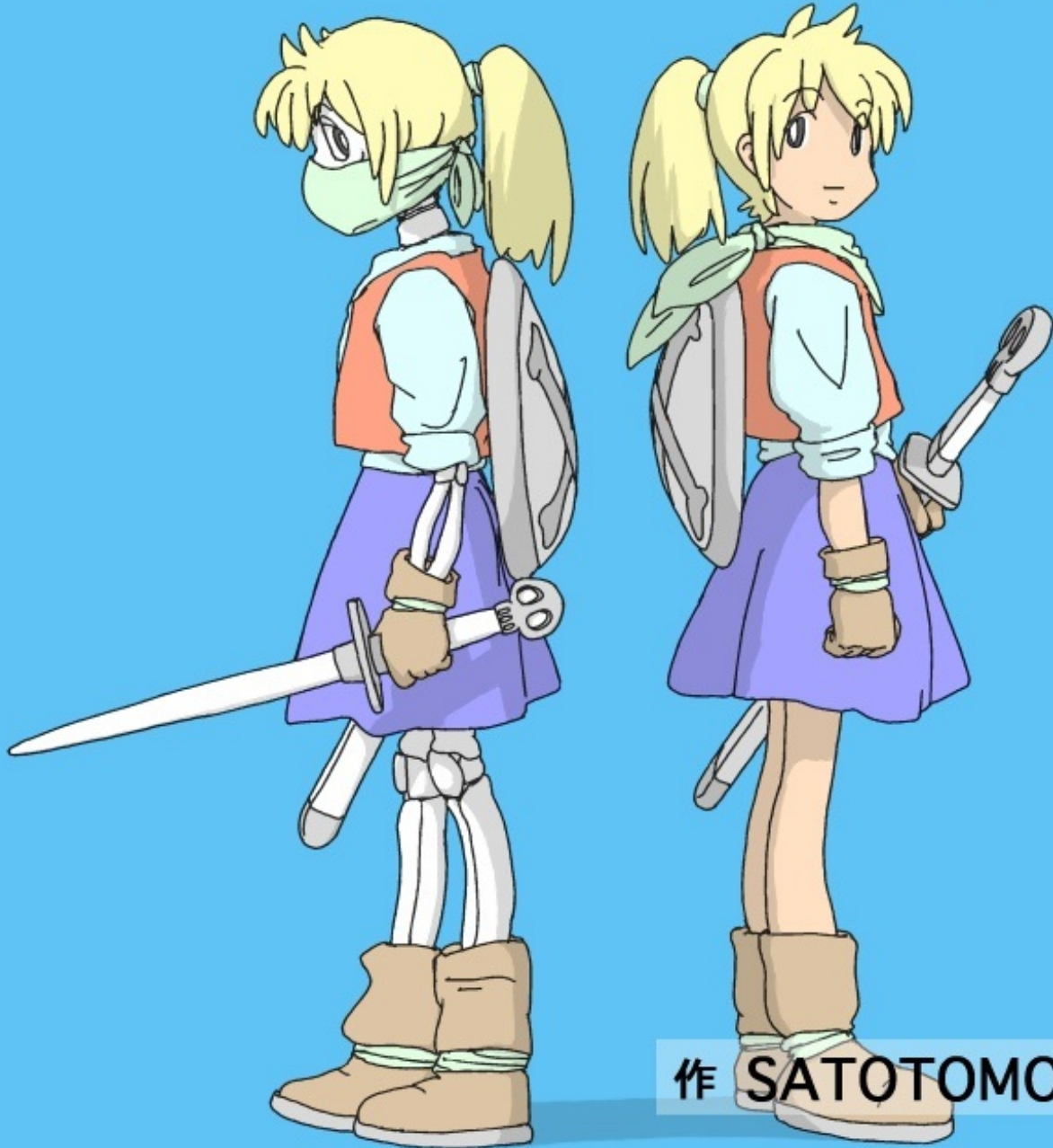


# SKULL

スカル

ACT 1

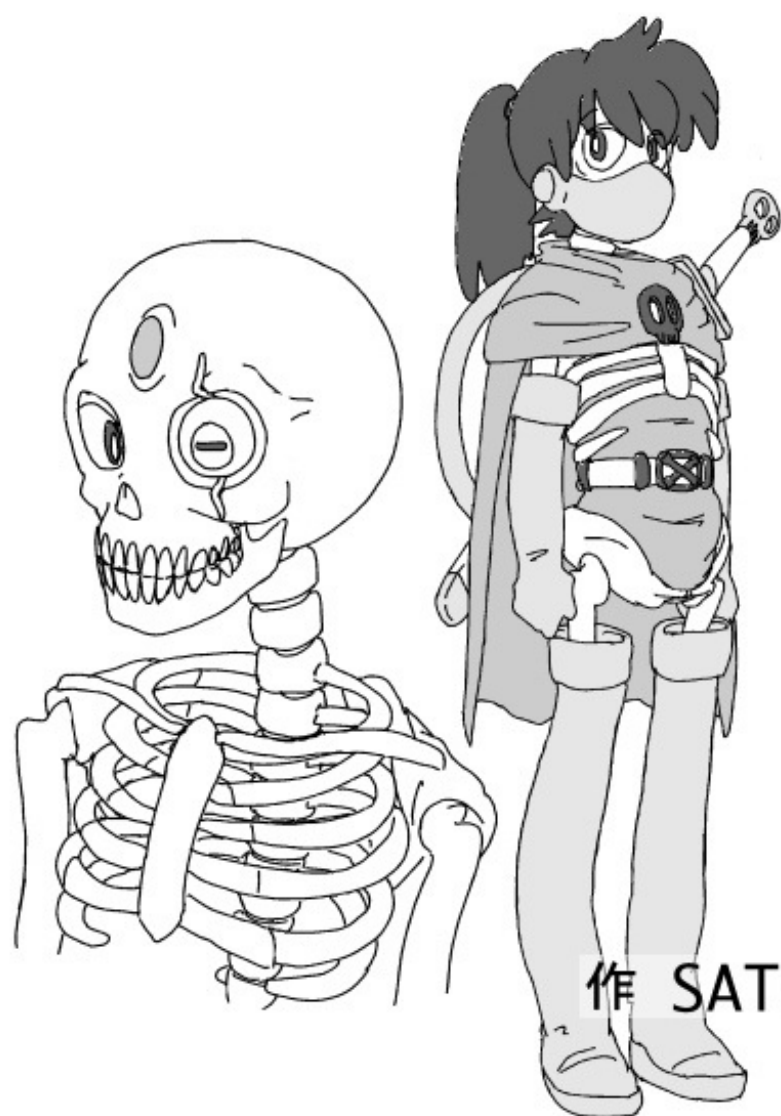


作 SATOTOMO

# SKULL

スカル

ACT 1

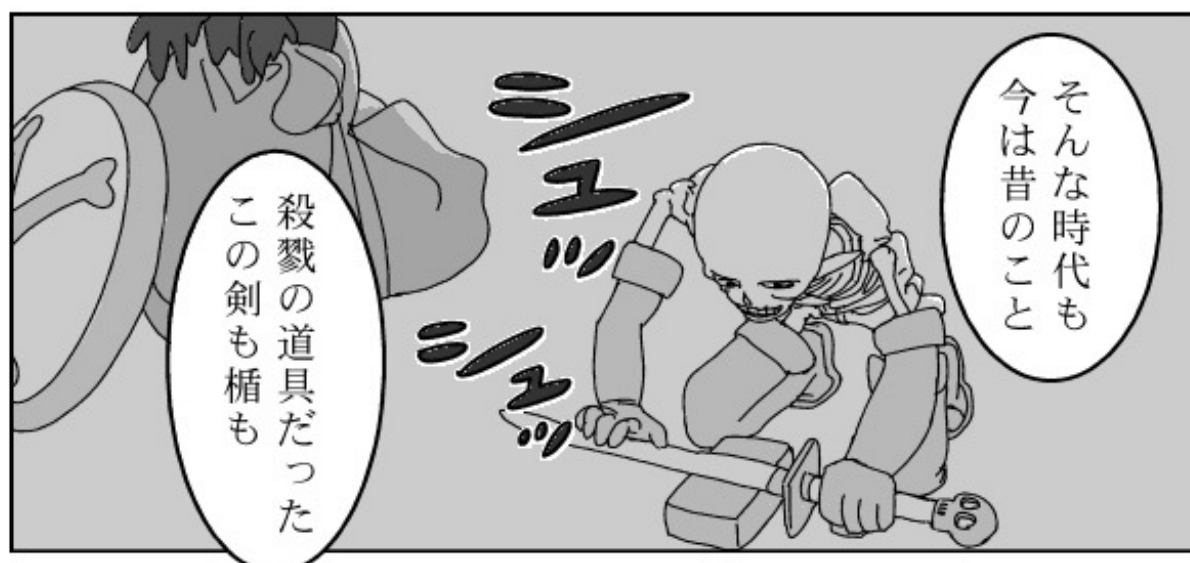


作 SATOTOMO



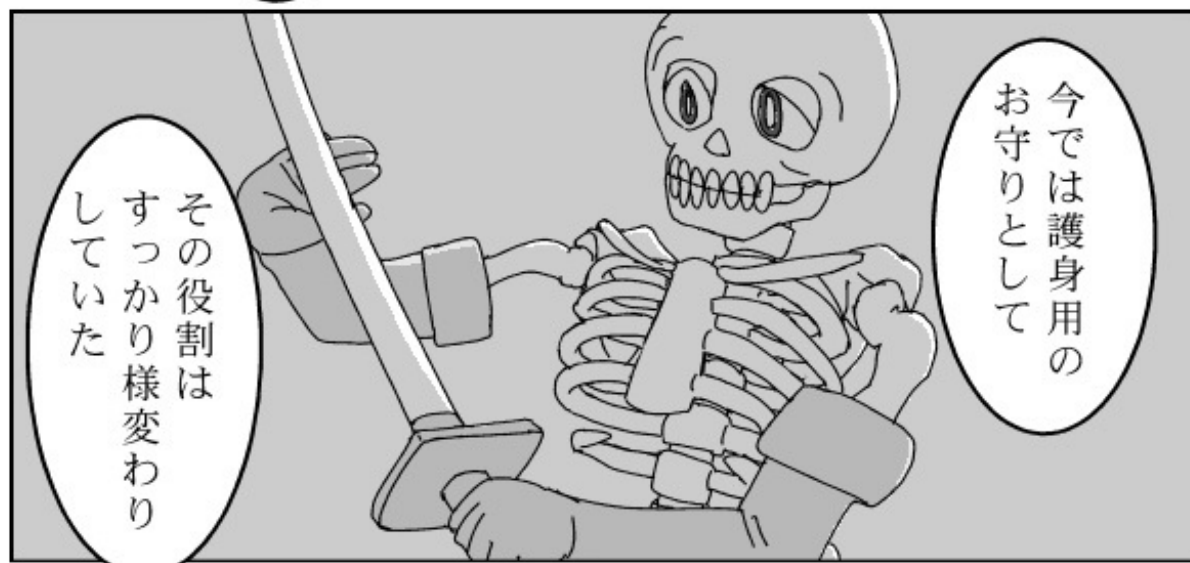
僕の名は  
ホーネン・スカル  
スカル族として  
この世に生を受けた

かつては人間から  
骸骨戦士と呼ばれ  
恐れられた種族だった  
歴史もあるが



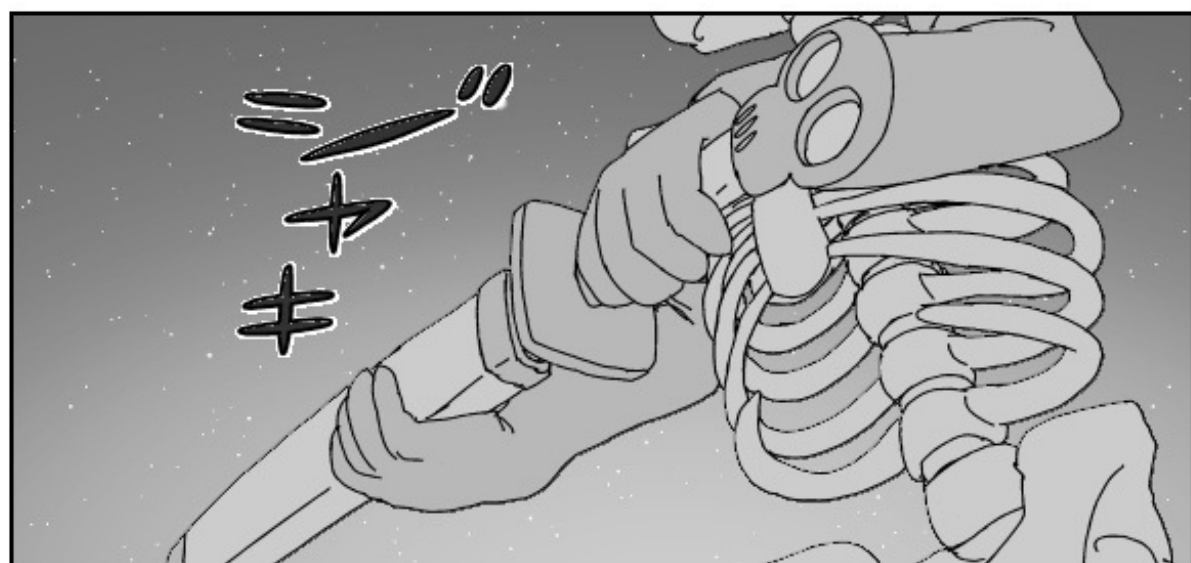
そんな時代も  
今は昔のこと

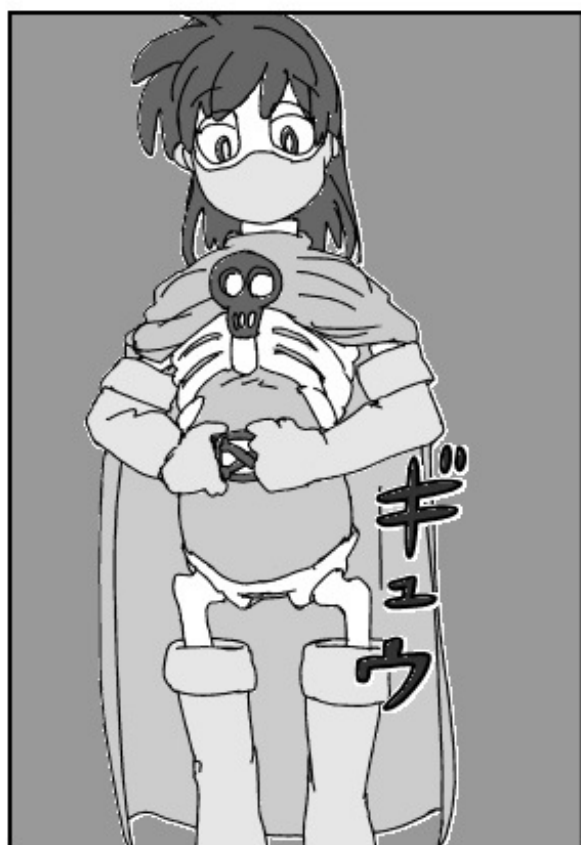
殺戮の道具だった  
この剣も楯も



今では護身用の  
お守りとして

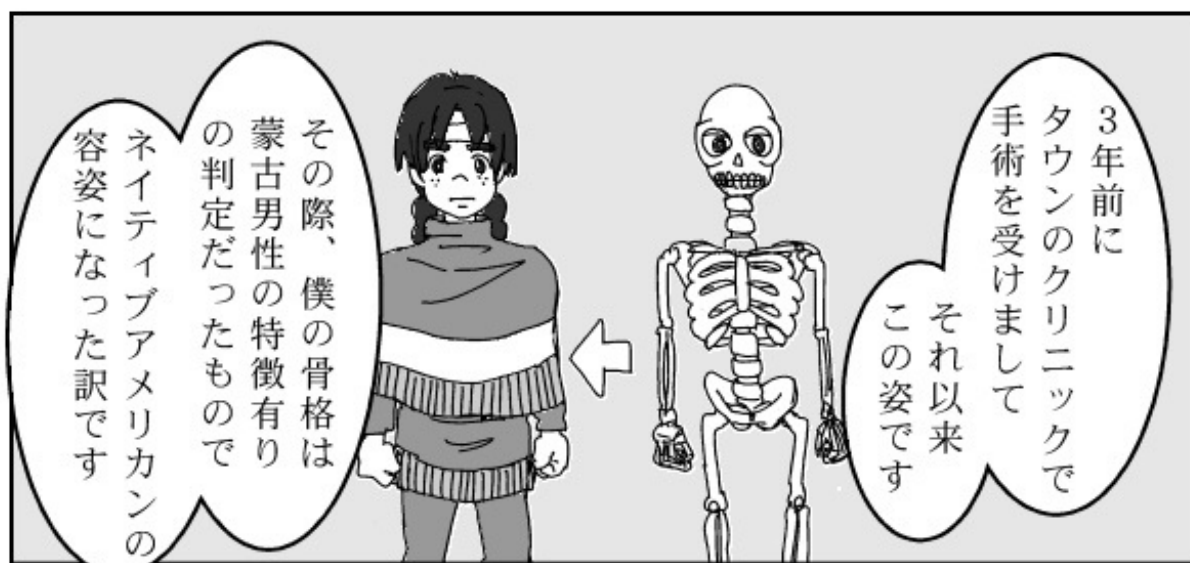
その役割は  
すっかり様変わり  
していた













過去には  
スカルと人類が  
勢力争いをした  
こともあったけど

もう僕達が  
大手を振って  
いられる時代じゃ  
ないのも確か



僕達スカル族が  
彼等に合わせて  
いかなくちや

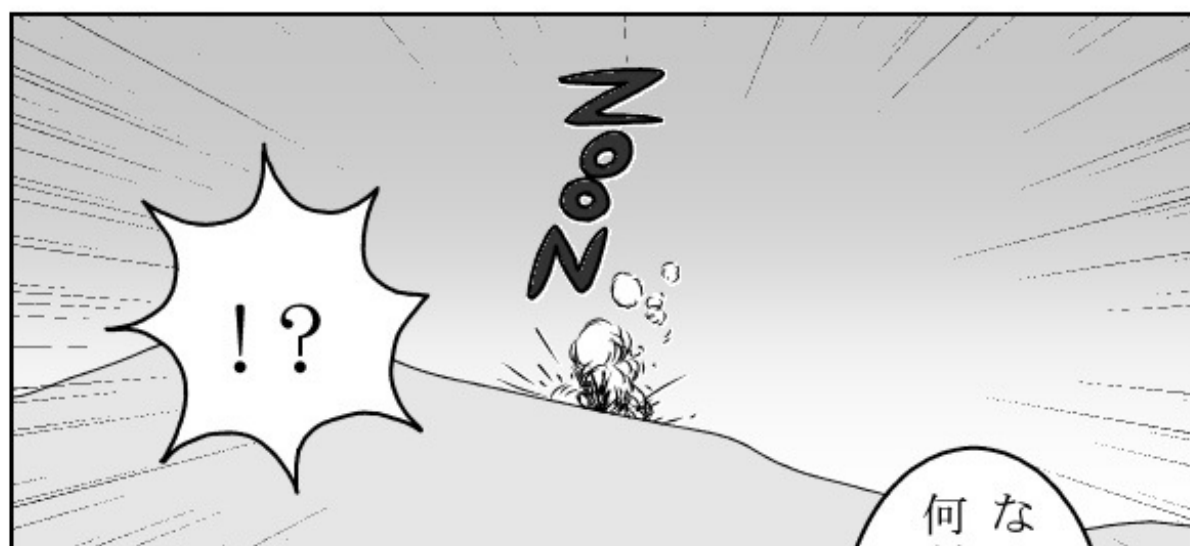
人間との友好が  
大切ですよ

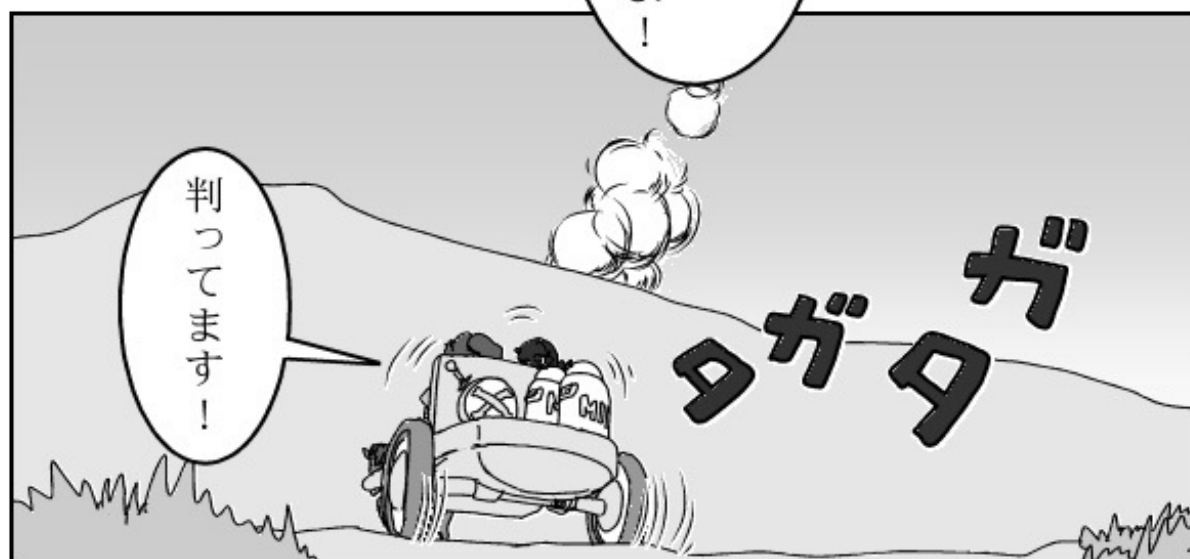


年齢的に成熟したら  
フル・ボディになる  
のが一番ですよ

今の世の中  
完全に人間達が  
地上の支配者  
なのですから







峠の反対側  
事故現場

モク  
モク

抵抗するな！  
さもないと  
命は無い！

ド  
ド

うわっ！

やめろ！  
やめてくれ！

黙っておとなしく  
しているろ！

ぐ  
ぐ

うぐう〜





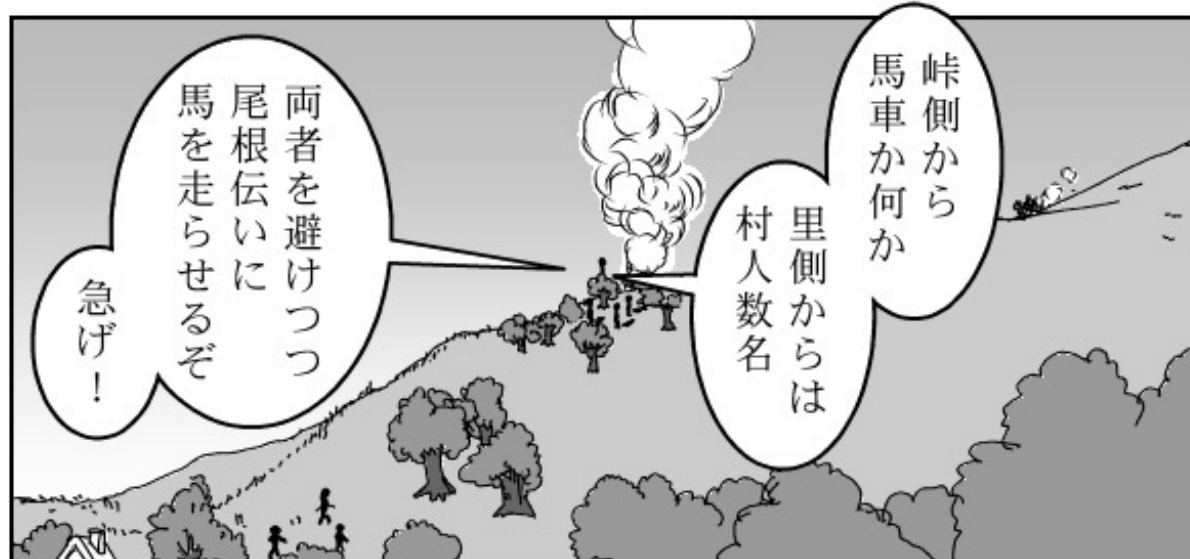
一体こいつらは  
スカルの誇りを何と  
思っているのか

成果は上々  
なのだが  
どうにも心が  
満たされぬ



まずい!

人が近づいてる  
逃げる準備だ!  
ちと派手に  
やりすぎた!

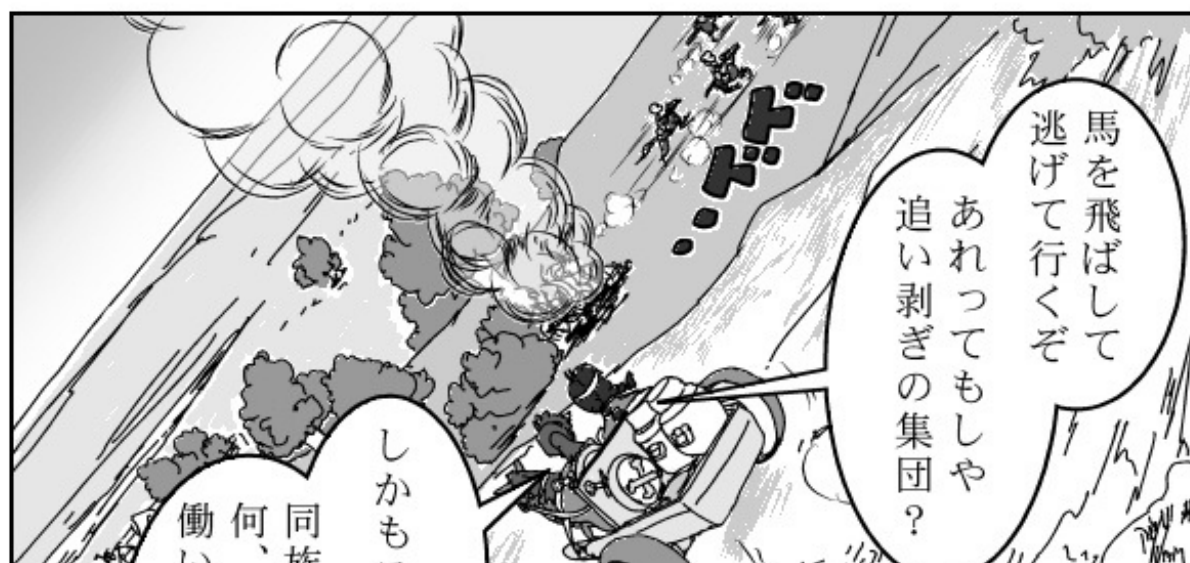


峠側から  
馬車か何か

里側からは  
村人数名

両者を避けつつ  
尾根伝いに  
馬を走らせるぞ

急げ!



馬を飛ばして  
逃げて行くぞ

あれっでもしや  
追い剥ぎの集団？

しかもスカル！

同族の身で  
何、悪事を  
働いてやがる！



捕まえて  
一太刀浴びせる  
必要があるな

馬鹿なことを  
考えるな！

どう見ても  
多勢に無勢

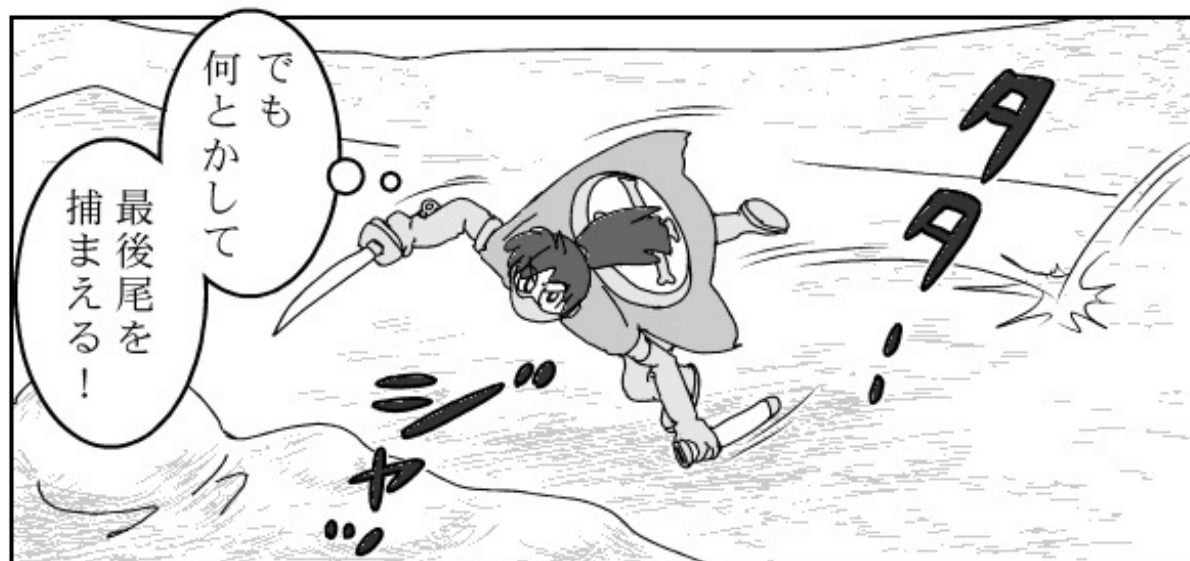


黙って泣き寝入りは  
性分じゃない・

判った  
でも・

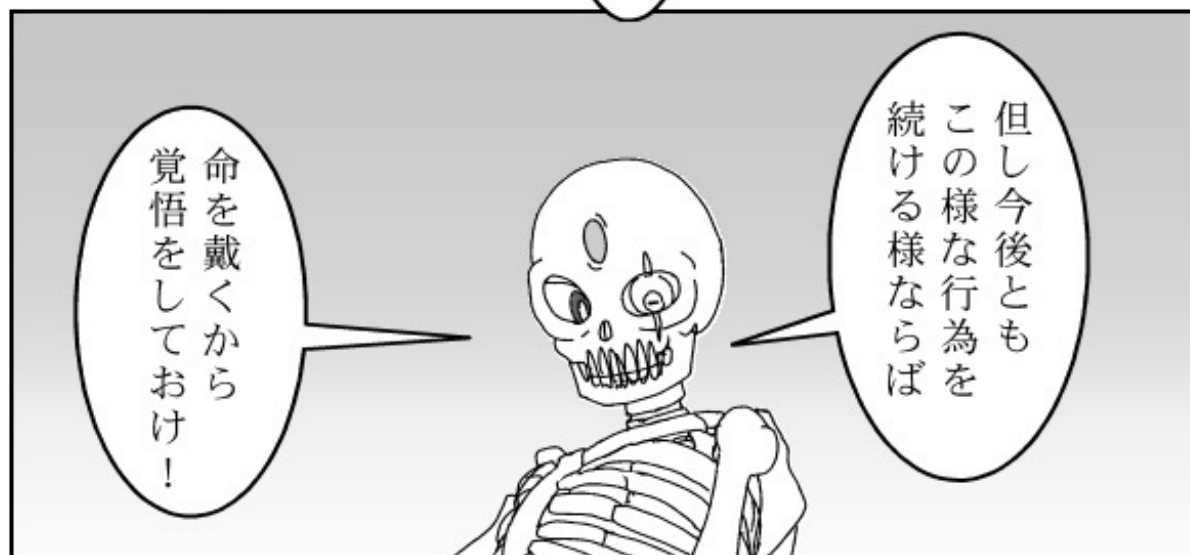
深追いは  
するな！











ACT2へつづく・・・

# SKULL ACT1

作者 SATOTOMO

E-mail [BXJ05041@nifty.com](mailto:BXJ05041@nifty.com)

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2016年11月19日

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止します。

# SKULL ACT1

<http://p.booklog.jp/book/111239>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/111239>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト